
平成18年3月期
決算説明会

理想科学工業株式会社
平成18年5月12日

目次

1.	平成18年3月期決算総括	Slide	3 ~ 4
2.	平成18年3月期業績概要	Slide	5 ~ 7
3.	平成18年3月期活動サマリー	Slide	8 ~ 11
4.	中期経営計画“Riso Vision 07”進捗状況	Slide	12 ~ 14
5.	平成19年3月期重点課題	Slide	15 ~ 16
6.	平成19年3月期業績予想	Slide	17 ~ 18

平成18年3月期決算総括(1)

増収減益

- 売上高
 - インクジェット事業(オルフィス)、国内順調に推移し、増収
 - 孔版事業(リソグラフ)、国内・欧州で計画未達、減収
- 営業利益前年比17億円減少
 - 販売費および一般管理費前年比17億増

平成18年3月期決算総括(2)

連結業績

(単位:百万円)

	平成17年 3月期	平成18年 3月期	対前年実績差異	
			金額	%
売上高	85,161	87,601	2,439	2.9%
売上総利益	45,302	45,249	-52	-0.1%
営業利益	6,574	4,812	-1,762	-26.8%
経常利益	5,883	4,552	-1,330	-22.6%
当期純利益	3,280	2,154	-1,126	-34.3%
為替レート	円/US\$	107.55	113.31	
	円/EURO	135.19	137.86	

平成18年3月業績概要(1)

地域別売上高

(単位:百万円)

	米州	欧州	アジア	日本	合計
平成18年3月期	13,040	17,802	10,327	46,431	87,601
前期比	-0.4%	3.9%	3.4%	3.3%	2.9%
平成17年3月期	13,099	17,138	9,990	44,933	85,161

平成18年3月業績概要(2)

地域別売上高 - 前期為替レートで換算

(単位:百万円)

	米州	欧州	アジア	日本	合計
平成18年3月期	12,377	17,447	9,764	46,431	86,020
前期比	-5.5%	1.8%	-2.3%	3.3%	1.0%
平成17年3月期	13,099	17,138	9,990	44,933	85,161

為替の影響額は、15億8,100万円のプラス

平成18年3月業績概要(3)

所在地別セグメント営業利益

(単位:百万円)

	米州	欧州	アジア	日本	消去	合計
平成18年3月期	-1,070	549	605	5,220	-492	4,812
前期比	-	-26.3%	55.1%	-13.2%	154.9%	-26.8%
平成17年3月期	-379	745	390	6,011	-193	6,574

平成18年3月期重点課題

- インクジェット事業の拡大
- 同時2色印刷機の拡販
- 全体最適を指向した開発・技術・生産運営
- マネジメント意識改革の推進
- 環境経営の推進とVCM^{*}体制の構築

* VCM: バリューチェーンマネジメント

平成18年3月期活動サマリー(2) 【インクジェット事業】

• インクジェット事業課題

- 国内: 営業展開本格化
- 海外: 欧州および米州販路構築



ORPHIS HC5500中とじフィニッシャーシステム

• 新製品投入

- ORPHIS HC5500シリーズ
 - 毎分120枚のプリントスピード、厚紙対応可能
 - 平成17年11月国内発売
- 多機能フィニッシャー

• 活動結果

- 国内
 - 計画達成、インク好調
 - 本体販売は計画未達
- 海外
 - 米州販路構築に遅れ

平成18年3月期活動サマリー(3) 【孔版事業】

• 孔版事業課題

- 同時2色印刷機リソグラフMZシリーズのスタンダードモデル化への挑戦(中期的に本体構成比30%を目指す)



リソグラフMZ770

• 新製品投入

- リソグラフRZ7/9シリーズ
 - 印刷速度毎分180枚のトップエンド・モデル
 - 平成17年9月国内発売開始、海外第4四半期投入

• 活動結果

- 国内印刷機本体販売回復
- MZシリーズ販売好調
- 国内海外とも消耗品販売が前年を下回る
- 米州印刷機本体販売単価下落

平成18年3月期活動サマリー(4)

- **その他特記事項**

- **自社株式取得**

- 70,000株を3億100万円で取得

- **株式分割**

- 平成17年11月18日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施

中期経営計画“Riso Vision 07”進捗状況(1)

平成17年3月期から平成19年3月期までの3カ年計画

【経営目標】

コアビジネスである『孔版事業』による収益の拡大に加え新規事業『インクジェット事業』による成長基盤の確立を図る

【基本方針】

1. 新規商品開発の加速と開発体制の強化・充実
2. 孔版事業の更なる拡大への挑戦
3. 新規インクジェット事業の確立
4. 低コスト、在庫圧縮を実現する生産物流体制の構築
5. 将来の発展を牽引する人材開発の実施
6. 法令の遵守及び環境に配慮した企業運営

最終年度(平成19年3月期)に

売上高1,000億円、売上高営業利益率10%を目指す

中期経営計画“Riso Vision 07”進捗状況(2)

- **新規商品開発の加速と開発体制の強化・充実**
 - － 開発部門の機構改革、コンカレント・エンジニアリングが効果を上げる
 - － 新製品投入
 - **孔版事業**
 - － 同時2色印刷機 リソグラフMZ7シリーズ 平成16年12月
 - － デジタル印刷機 リソグラフRZ330 平成17年 5月
 - － デジタル印刷機 リソグラフRZ7/9シリーズ 平成17年 9月
 - **インクジェット事業**
 - － 高速フルカラープリンター ORPHIS多機能フィニッシャー 平成17年 7月
 - － 高速フルカラープリンター ORPHIS HC5500 平成17年11月

- **孔版事業の更なる拡大への挑戦**
 - － 孔版事業の市場拡大を目指したが、2期連続減収となった
 - 国内:同時2色印刷機投入もサプライ低調で減収
 - 海外:全体的に低調(特に米州不振)

中期経営計画“Riso Vision 07”進捗状況(3)

- **新規インクジェット事業の確立**
 - 低ランニングコスト高速フルカラープリンターコンセプトは市場から認知
 - 販路構築、国内では順調に推移、海外では米国で遅れ
 - インク販売好調、プリンター本体販売計画未達
- **低コスト、在庫圧縮を実現する生産物流体制の構築**
 - VCMプロジェクト立ち上げ、活動開始

平成19年3月期重点課題(1)

孔版事業の2期連続減収という現状認識のもと、
事業構造転換に向け
企業運営のあらゆる側面での革新を図る

- 孔版事業におけるシェア・収益力の向上
- オルフィスの販売加速の実行
- 米州子会社運営の再構築
- 新規商品開発、新規事業企画推進の加速

平成19年3月期重点課題(2)

- 孔版事業におけるシェア・収益力の向上
 - 同時2色印刷機リソグラフMZシリーズ拡販
 - MZシリーズ・スタンダード・モデル化推進
 - 新製品リソグラフMZ970の上市
- オルフィスの販売加速の実行
 - オルフィス・プリントチャージシステム導入
 - 海外販売網構築
- 米州子会社運営の再構築

平成19年3月期連結業績予想(1)

(単位:百万円)

	平成18年3月期 実績	平成19年3月期 予想	対前年実績差異	
			金額	%
売上高	87,601	89,900	2,299	2.6%
営業利益	4,812	5,300	488	10.1%
経常利益	4,552	4,700	148	3.2%
当期純利益	2,154	2,900	746	34.6%
連結ROE	3.2%	4.1%		
営業利益率	5.5%	5.9%		
為替レート	円/US\$	113.31	110.00	
	円/EURO	137.86	135.00	

平成19年3月期連結業績予想(2) - 前提条件 -

想定為替レート

1ドル: ¥110.00

1ユーロ: ¥135.00

為替変動によるインパクト(1円変動時/通期)

	売上高	営業利益
円/US\$	1億8,000万円	6,000万円
円/EURO	1億円	5,000万円